

インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2007. 10. 28.

メッセージ
宗教改革記念日にちなみ
「信仰のために
戦う」

ユダの手紙3節、17-25節
竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書
ユダの手紙 3節
及 17-25節

3 愛する人々。私はあなたがたに、私たちがともに受けている救いについて手紙を書こうとして、あらゆる努力をしていましたが、聖徒にひとたび伝えられた信仰のために戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。

17 愛する人々よ。私たちの主
イエス・キリストの使徒たちが、
前もって語ったことばを思い起
こしてください。

18 彼らはあなたがたにこう言いま
した。「終わりの時には、自分
の不敬虔な欲望のままに
ふるまう、あざける者どもが現
われる。」

19 この人たちは、御霊を持たず、
分裂を起こし、生まれつきの
ままの人間です。

20 しかし、愛する人々よ。あなた
がたは、自分の持っている最も
聖い信仰の上に自分自身を築き
上げ、聖霊によって祈り、

21 神の愛のうちに自分自身を保ち、
永遠のいのちに至らせる、私
たちの主イエス・キリストの
あわれみを待ち望みなさい。

22 疑いを抱く人々をあわれみ、

23 火の中からつかみ出して救い、
またある人々を、恐れを感じ
ながらあわれみ、肉によって
汚されたその下着さえも忌み
きらいなさい。

24 あなたがたを、つまずかない
ように守ることができ、傷の
ない者として、大きな喜びを
もって栄光の御前に立たせる
ことのできる方に、

25 すなわち、私たちの救い主で
ある唯一の神に、栄光、尊厳、
支配、権威が、私たちの
主イエス・キリストを通して、
永遠の先にも、今も、また世々
限りなくありますように。

アーメン。

説教

メッセージ

宗教改革記念日に因んで

「信仰のために戦う」

ユダの手紙3節、17－25節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「聖徒にひとたび伝えられた信仰の
ために戦うよう・・・」

(3節)

A. 宗教改革を概観する

教会歴史の流れ（図表①）

1. 改革を必要としていた教会

（16世紀のローマ・カトリック
教会状況）

図表1

教会歴史の流れ

初代教会 30

古カトリック教会

ローマ・カトリック教会確立 590

ローマ・カトリック教会 1054

ギリシャ正教会

プロテスタント諸教会1517

ルター派

カルヴァン派・改革派・長老派

バプテスト派・組合派

英国国教会

メソジスト派
ホーリネス派

ペンテコステ派

1) 絶頂を極めた教皇権と その腐敗

- 教皇権絶頂の象徴は
「カノッサの屈辱」
(11世紀終わり) 絵図①
- 「教皇の『バビロン』捕囚」
(14-15世紀)
- 教会指導者の著しい道徳的腐敗



絵図1 カノッサの屈辱

2) 教理的な歪み

- ・ マリヤの神格化
- ・ 煉獄の教え
- ・ 行いによる救い等

2. 宗教改革の胎動

1)

イギリスのジョン・ウィクリフ
(14世紀) : 絵図②

2) ボヘミアのヤン・フス

(14-15世紀) : 絵図③

3)

フィレンツェのサヴォナローラ
(15世紀) : 絵図④



絵図2

ジョン・ウィクリフ



絵図3 ヤン・フス



絵図4

サヴォナローラ

3.

マルティン・ルターの改革(絵図⑤)

1) 信仰による救いを見出すまで

- 誕生（1483年、アイスレーベンで、鉱山経営者の息子として）
- 母からの厳しい躾
- 雷の経験（修道士になる誓い）



絵図5

マルティン・ルター

・ ウィットテンベルク大学で
聖書講義

・ その準備の中で「信仰義認」
を確信

2) ローマ・カトリック教会 への抗議

- 1517年、テツツェルの免罪符
販売に憤慨（絵図⑥）
- 10月31日、ウィッテンベルク城
教会の扉に95か条の抗議文
- 教会側からの圧力に抵抗



絵図⑥ テツツェルの免罪符販売

- ・ 1521年、ヴォルムスの国会
で宣言
(絵図⑦)

「聖書と理性によって、明らかに自説が間違いであるということが証明されない限り、自分の説を取り消すことはできません。ここに私は立っています。神よ、私を助け給え。」



絵図7 ヴォルムズ国会

3) プロテスタント教会の成立 と発展

- ドイツの領主達の助けでルター支持が広がる
- プロテスタント諸教会がそれぞれの国で形成

・プロテスタントの基本原則

①聖書のみ：

教皇の権威・教会の伝統 < 聖書

②信仰のみ：

救いは信仰のみによる

③万人祭司：すべての信仰者は、

直接神に近づきうる

B. 信仰のために共に戦う (ユダ書に学ぶ)

1. 伝えられた信仰

- 使徒達を通して伝えられた福音で、変更不可
- その内容は、キリストの死、 葬り、 復活

2. 信仰を歪める要素

- 福音の根幹を歪める要素
(不敬虔、放縦、肉欲、利益追求
などなど)
- 問題の本質：自己中心の罪

3. 戦いの実践

- ・ 自分自身を清く保つ
- ・ 問題の人を助け出す

終わりに：

神の可能性を信じ、賛美しよう